

DATA FILE



六方晶系

名前	QUARTZ (クォーツ) / 石英
化学組成	SiO ₂
色	無色、白色、紫色、ピンク色、黄色、黒褐色など
光沢	ガラス光沢
蛍光	なし
条痕	白
劈開	なし
断口	貝殻状～不規則
硬度	7
比重	2.7

クォーツ (石英)

QUARTZ

ハンマーなどでたたくと
貝殻状や不平坦な断口が
あらわれる。

無色透明で結晶の形が
明瞭な、このようなタ
イプの石英はとくに水
晶と呼ばれる。

ガラスのような光沢が
あらわれている。

素焼きの陶板にこ
すりつけると白い
条痕が残る。



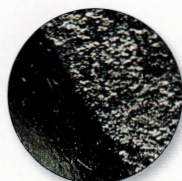
ピンク色の
ローズクォーツ



オレンジ色の
鉄水晶



紫色のアメシスト



黒色の黒水晶

地球上でもっとも多く見られる鉱物で、無
色、白色、黄色、ピンク色、緑色、黒色、
オレンジ色など、色や外見的特徴などか
ら、さまざまな別名がある。



さまざまな色であられる石英

純粋な石英は無色で、微量成分として鉄などの金属が混ざったものは、紫色や黄色、黒色、ピンク色など、さまざまな色であられる。

紫色の水晶をアメシストといい、アメシストに熱がゆっくり加わってできたのが黄水晶。チタンを含むものはピンク色をしており、ローズクォーツと呼ばれる。そのほかに、縞模様が特徴のめのう、淡い緑色したクリソプレース、緑の中に赤い斑点が見えるブラッドストーン、暗い赤から黄色まで、さまざまな色をしめす碧玉などがある。これらは、宝石としても人気が高く、アクセサリとしても使用されている。

石英は、電圧を加えると一定の周波数で規則正しくふるえるという性質があり、これを活かしたものがクォーツ時計である。このほかに、ライト、めがね、医療用のレーザーなどにも使用され、ほかにも洗剤、はみがき粉、ペンキなど日々の暮らしに多用されている。

クォーツ（石英）



▲スペインのバレンシア地方でとれた鉄水水晶。

主な産地



イギリス

質のよい石英が見つかっている。

ドイツ

50tもの石英の結晶が入った大きな晶洞が見つかったことがある。

マダガスカル

大きな石英の結晶が見つかる。

ブラジル

第二次世界大戦中に1000t以上の石英が発見され、無線機に使用された。



▲石英の結晶集合体。アメリカのアーカンソー州産。



▲スイスより産出した石英。国立科学博物館所蔵の「櫻井鉱物コレクション」のひとつ。



▲イタリアで産出した黒水晶。

ブラジル

第二次世界大戦中に1000t以上の石英が発見され、無線機に使用された。



▲大理石のすき間にできた透明な石英の結晶。